

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	兵庫医科大学
設置者名	学校法人兵庫医科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
医学部	医学科	夜・通信	0	0	49	49	19	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.hyo-med.ac.jp/faculty/curriculum/syllabus/2021.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	兵庫医科大学
設置者名	学校法人兵庫医科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ：https://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/school_personal.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2019.4.1 ～ 2022.3.31	財務・経営アドバイ ス
非常勤	医師会 会長	2019.4.1 ～ 2022.3.31	地域連携（病診）
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	兵庫医科大学
設置者名	学校法人兵庫医科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 本学では、学長より各科目責任者へシラバスを作成するよう依頼し、科目責任者は、学修成果と科目の関連及び作成要領をもとに、授業概要・授業計画を作成している。なお、授業概要には、目的・到達目標・概要・履修方法・成績の評価方法・評価基準・フィードバック方針・受講のルールなどを定め、授業計画には開講日時、担当教員、講義内容などを定めている。 完成したシラバスは、学生の履修計画が立てられるよう3月中旬ごろにホームページにて公表している。	
授業計画書の公表方法	https://www.hyo-med.ac.jp/faculty/curriculum/syllabus/2021.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 科目責任者は、各科目の授業概要に記載している成績評価の方法・成績評価基準及び評価の原則・評価ガイドラインに基づき、形式的評価として学生の学修成果を評価している。 なお、各科目の学修成果は、大学としての学修成果をもとに各科目で作成している到達目標（アウトカム）を示す。 また、総括的評価として、総合進級試験、共用試験（CBT、Pre-CC OSCE、Post-CC OSCE）、卒業試験などを実施しており、一定の水準を保てるよう、教務委員会で厳格に管理している。 【学修成果に関する公表の方法】 https://www.hyo-med.ac.jp/library/faculty/curriculum/05.pdf https://www.hyo-med.ac.jp/library/faculty/curriculum/06.pdf	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) GPA制度については、「兵庫医科大学 医学部 GPA 制度に関する要領」において定めており、シラバスに明記し、ホームページにて公表している。また、算出方法についても次のとおり、同要領で定めている。 【GPAの算出方法】 年度 GPA=(履修登録科目の GP×当該科目の単位数)の当該年度の総和／当該年度の履修総単位数	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.hyo-med.ac.jp/var/rev1/0005/7843/12161816130.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本学は、医師を養成する大学であることから、学位授与方針において、卒業時に医師として備えるべき資質を次のとおり策定している。 「兵庫医科大学は、「建学の精神」である『社会の福祉への奉仕』『人間への深い愛』『人間への幅の広い科学的理解』に基づき定められた使命を達成するため、人間への深い愛情を持ち、かつ科学的な観察・理解に基づいて、社会の福祉に奉仕できる医師を育成します。6年間で在学して所定の単位を修得し、それぞれの4領域12要素の全ての学修成果を修めた学生に学士（医学）の学位を授与します。」 さらに、上記の方針に基づき、4領域12要素を策定している。 これらの内容は、シラバスに明記し、ホームページにて公表している。 卒業の認定については、教授会において、学位授与方針に加えて兵庫医科学則に規定する「所定の課程を修了し卒業試験に合格した者」であるかを確認したうえで、卒業判定を行い、最終的に学長が決定している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.hyo-med.ac.jp/faculty/policies/diploma.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	兵庫医科大学
設置者名	学校法人兵庫医科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/financial_statement.html
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	https://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/vision/objective.html
監事による監査報告（書）	https://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/financial_statement.html

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：事業計画	対象年度：2021年度）
公表方法：	https://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/vision/objective.html
中長期計画（名称：第3次中期事業計画	対象年度：2018～2022年度）
公表方法：	https://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/vision/objective.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：	https://www.hyo-med.ac.jp/guide/activity/assessment.html
-------	---

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：	https://www.hyo-med.ac.jp/guide/activity/assessment.html
-------	---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 医学部医学科
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.hyo-med.ac.jp/guide/outline/mission.html)
(概要) 兵庫医科大学医学部は「建学の精神」を具現化する為に次の目的を掲げる。 1.豊かな人間性と高い倫理観を培い、幅広く様々な人々と共感でき、かつ信頼され得る人格を育成する。 2.人間を自然科学的のみならず人文社会科学的にも幅広く理解し、医科学に関わる基本的な知識と技能を身に付けると共に、その過程で遭遇する様々な問題点を的確に把握し解決できる応用力を育成する。 3.修得した態度、知識、技能を多様な医学領域および種々の専門領域において実践することにより、幅広い視野に立って社会の福祉へ奉仕できる有能な医師を社会に送り出すことを究極の目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.hyo-med.ac.jp/faculty/policies/diploma.html)
(概要) 兵庫医科大学は、「建学の精神」である「『社会の福祉への奉仕』『人間への深い愛』『人間への幅の広い科学的理解』」に基づき定められた使命を達成するため、人間への深い愛情を持ち、かつ科学的な観察・理解に基づいて、社会の福祉に奉仕できる医師を育成します。6 年間で在学して所定の単位を修得し、それぞれの 4 領域 12 要素の全ての学修成果を修めた学生に学士（医学）の学位を授与します。 『社会の福祉への奉仕』 <u>関心・意欲・態度</u> 安心・安全な医療に強い使命感と自律性を有し、優れた協調精神を持ってチーム医療の一員として社会の福祉に奉仕できる良医となるべき素養を有している。 <u>思考・判断</u> 医療を取り巻く社会経済的動向を把握し、地域医療の向上に貢献するとともに、地域の保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力できる。 <u>技能・表現</u> 人文社会科学を含む幅の広い教養と国際性を身につけ、海外からの情報を積極的に利用できる語学力を有し、国際保健に貢献できる。 <u>知識・理解</u> 人体や疾病に影響を与える社会的な要因や背景について理解し、支援扶助の社会的仕組みについて理解している。 『人間への深い愛』 <u>関心・意欲・態度</u> 豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守り、社会の福祉に奉仕する医師としての職責を自覚し、地域ならびに母校への帰属意識を有している。 <u>思考・判断</u> 患者およびその家族の人権を守り、医師の義務や医療倫理を遵守するとともに、患者の安全を最優先し、患者の権利と生命の尊厳を守ることができる。

技能・表現

人間の多様性を理解し、周囲の人々への温かい眼差しを持ち、共感できる豊かなコミュニケーション能力を有している。

知識・理解

患者の痛み、苦しみ、悩みと機能障害を含め様々なハンディキャップを理解し、常に患者中心の立場に立つことができる。

『人間への幅広い科学的理解』

関心・意欲・態度

医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲と生涯にわたり自己研鑽を続ける態度を有し、同僚・後輩への教育に労を惜しまない。

思考・判断

患者の持つ様々な問題点を科学的かつ統合的に捉え、的確に判断し解決できる応用力と問題解決能力を有している。

技能・表現

基本的な診察法、医療技術、救命救急法を修得しており、全身を総合的に診療するための実践的能力、ならびに医療安全と危機管理の能力を有している。

知識・理解

人体の構造、機能および異常や疾病とそれらの原因、病態、診断、治療に関する基本的な知識ならびに様々な疾病に対する適切な治療法を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<https://www.hyo-med.ac.jp/faculty/policies/curriculum.html>)

(概要)

兵庫医科大学は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、教育課程編成・実施の方針を以下の通り定めます。

『社会の福祉への奉仕』

- ・社会の福祉に奉仕する医師としての職責を自覚するため、低学年から体系的な社会教育を実施する。
- ・幅広い教養を身につけるため、関西学院大学上ヶ原キャンパスで多彩な人文社会系科目を修得する。
- ・国際性と語学力を養うため少人数での英会話教育、医学英語教育、英語のみで実施される臨床科目、英文による試験出題、海外姉妹校への交換留学プログラムなどを実施し、国際保健の教育を行う。
- ・チーム医療を遂行する優れた協調精神を養うため、兵庫医療大学の各学部と 4 学部合同のチーム医療演習を実施する。
- ・本邦ならびに兵庫県の医療を取り巻く社会経済的動向を把握し、地域医療を理解するためささやま医療センターにおける臨床実習を実施し、プライマリケアを学修する。
- ・地域医療への貢献及び兵庫医科大学への帰属意識と愛着を深める体験や実習を行う。

『人間への深い愛』

- ・豊かな人間性を育み、患者に寄り添う医師を養成するため、体系的な早期臨床体験実習を実施する。
- ・患者及びその家族の人権を守り、医師の義務や医療倫理を遵守し、患者安全を図るため、継続的に倫理教育を科目化して実施する。
- ・人間の多様性と多様な考え方を理解するため、多彩な患者、コメディカル、兵庫医療大学や関西学院大学の学生などと幅広い交流を行い、第 1～第 4 学年次まで継続してコミュニ

ケーション教育を実施する。

- ・患者の痛み、苦しみを理解するために体系的に痛み教育を行う。

『人間への幅の広い科学的理解』

- ・入学前に培われた基本的素養を活かし、リメディアル教育、アカデミックリテラシー教育、理数系基礎教育、医学への準備教育及び基礎医学教育を段階的に行い、生命科学の基本概念を修得するとともに学修能力を向上させ知的好奇心を涵養する。
- ・人体についての基本的な知識並びに様々な疾病に対する適切な治療法を身に付けるため、医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した統合カリキュラムと診療参加型実習を導入する。
- ・患者の持つ様々な問題点を統合的に捉え解決できる応用力と問題解決能力を養うためチーム基盤型学修を導入する。
- ・最先端の医学的知見を教育し、研究を遂行する意欲と基礎的素養を涵養するため、基礎講座配属を実施し、研究医コースを設ける。
- ・適切なコミュニケーション能力、基本的な診察法、医療技術、治療法、救命救急法の修得のため低学年における患者接触を含め約 72 週のベッドサイド教育を実施する。
- ・予防・先制医療から在宅医療・看取りまですべての医療の時間軸を学修する実習を行う。
- ・生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を養うため、レベルアップ選択科目並びに自由選択実習を導入し、また同僚や後輩への教育機会も創出するため、ピアサポート制度並びに屋根瓦方式の臨床実習を導入する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.hyo-med.ac.jp/faculty/policies/admission.html>)

(概要)

兵庫医科大学では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を掲げており、その方針に則り、本学の目的を達成するために次のような人物を求めます。

<求める人物像>

関心・意欲・態度

- ・医師となることについて明確な目的と情熱を持っている。
- ・病める人に対する思いやりを持ち、痛みに関感できる。
- ・豊かな教養と人間性を有する。
- ・常に努力を怠らない強い向上心を持ち、自ら進んで学修し、生涯にわたって自己啓発・自己学修・自己の健康増進を継続する意欲がある。
- ・科学への好奇心を有し、疑問に対して積極的に追求する姿勢を有する。
- ・自己犠牲の精神があり、社会に奉仕する心を持つ。

思考・判断

- ・高い倫理性を有し、良心に従い行動できる。
- ・自分の考えや行動に責任を持ち、それを周囲に明確に示すことができる。

技能・表現

- ・協調性に富み、周囲の人と十分なコミュニケーションを取ることができる。
- ・多様な価値観を理解でき、相手の立場に立って接することができる。
- ・知識、技能をわかりやすく伝えることができる。

知識・理解

- ・本学の医学教育プログラムに対応できるしっかりとした基礎学力を有する。

入学するまでに、次のような教科、科目の内容を理解、習得していることが望めます。

数学

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（「数列」、「ベクトル」）

外国語

コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ

理科

物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物

その他に、基礎的な読解力、表現力、判断力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、論理的思考力、分析能力、社会の仕組みの理解と変化する社会情勢に対応する素養

このような人物の受け入れを行うため、本学では次のような入学者選抜を実施しています。

＜選抜方法の趣旨＞

地域医療を含む日本の医学・医療・福祉・保健に広く貢献できるよう、一般選抜に加えて学校推薦型選抜を行い、多様な人物を受け入れることを目指しています。

一般選抜では、高等学校において十分な学力を修得した学生、或いは同等の学力を有する学生を選抜します。一般選抜B（高大接続型）では、自ら進んで英語力を身につけ、国際的に活躍しようとする意欲を有することを重視します。学校推薦型選抜では、高等学校において一定のレベルの学力を修得したと認められる学生の推薦を求めますが、これに加えて、スポーツ・文化活動、検定資格、生徒会活動なども評価の対象としています。

学校推薦型選抜（地域指定制）では、将来の地域医療を担う医師を確保するため居住地域を限定して募集するもので、この制度により入学した方は地域医療に関する実習を履修します。

評価・重視する点や具体的な判定方法は次のとおりです。

学校推薦型選抜

充実した高校生活を送り全教科にバランスの取れた学力と優れた人間性を有する方を求めます。また、高等学校で多様な活動をした方、個性的な活動をした方も歓迎します。医学を学ぶのに必要な学力をみるための基礎学力検査、表現力、論理的思考力をみるための小論文試験、目的意識、コミュニケーション能力、表現力、判断力、協調性などをみるための面接試験を行います。基礎学力検査、小論文試験、面接試験、調査書などを含めて多面的、総合的に判定します。

特に、学校推薦型選抜（地域指定制）では、地域医療に対する理解・意欲などを含めて評価します。

一般選抜

高等学校において十分な学力を修得した学生に加えて、社会人や他学部卒業生などを含めて幅広く人材を募集します。一般選抜A（4科目型）では、医学を学ぶのに必要な学力をみるための個別学力検査は3教科4科目を課します。小論文試験は読解力、分析能力、論理的思考力等を計ります。面接試験では医学への志向と勉学意欲、表現力、判断力、協調性、コミュニケーション能力を持っていることを重視します。一般選抜B（高大接続型）では、個別学力検査に加えて英語の資格・検定試験を用いて英語の4技能を計ります。

個別学力検査、小論文試験、面接試験、調査書などを含めて多面的、総合的に判定します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.hyo-med.ac.jp/guide/outline/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	6 人	－					6 人
医学部	－	71 人	33 人	100 人	233 人	人	437 人
b.教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		258 人					258 人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： 学位： https://www.hyo-med.ac.jp/library/faculty/medical/pdf/degree_of_teachers_2020_01.pdf 研究業績： https://gyoseki.hyo-med.ac.jp/hcmhp/KgApp					
c.FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
医学部および大学院の教育研究活動等に係る教職員の能力の開発・向上を図り、本学の教育研究機能や本学組織の管理運営機能の向上を図るため、「兵庫医科大学 FD・SD 統括本部規程」に基づき、「FD・SD 統括本部」を設置し、本学に關係する FD・SD の統括、本学の課題解決に向けた FD・SD の企画を行っている。							
<主な FD 活動> 1) 幹部教員 FD 学校法人兵庫医科大学（兵庫医科大学、兵庫医療大学）の新任、昇任の幹部教員を対象に幹部教員 FD を実施する。科目責任者の責務、講座運営、研究倫理、労務管理、リーダーシップ、教育技法、コーチングなど幅広い分野で能力向上を図る。原則として1泊2日の合宿形式で行う。							
2) 医学教育ミニ・ワークショップ 毎年、教育についてのテーマを定め、該当教員の参加によって1泊2日で実施する。							
3) 兵庫医科大学教員の教育力向上セミナー 教育力向上にかかる4つのテーマを定め、年4回実施する。全教員は必ず4回のうち1回以上参加することを義務付ける。							
4) 兵庫医科大学教員 FD 全教員の参加を目標に毎月医学教育センター主催で実施する。評価方法等について参加型 FD を行う。任期制教員(助教)については任期更新（無期転換を含む）に必須の要件とする。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
医学部	112 人	112 人	100%	672 人	705 人	104.9%	0 人	0 人
合計	112 人	112 人	100%	672 人	705 人	104.9%	0 人	0 人
(備考)								

b.卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
医学部	101 人 (100%)	0 人 (0%)	94 人 (93.1%)	7 人 (6.9%)
合計	101 人 (100%)	0 人 (0%)	94 人 (93.1%)	7 人 (6.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) ※順不同 兵庫医科大学病院、大阪大学医学部附属病院、神戸大学医学部附属病院、赤穂市民病院、宝塚市立病院、西脇市立病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、大阪急性期・総合医療センター、国立病院機構呉医療センター・がんセンター、愛媛県立中央病院、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター他				
(備考) 卒業後の進路について： https://www.hyo-med.ac.jp/admission/career.html				

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
医学部	112 人 (100%)	83 人 (74%)	25 人 (22%)	4 人 (4%)	0 人 (0%)
合計	112 人 (100%)	83 人 (74%)	25 人 (22%)	4 人 (4%)	0 人 (0%)
(備考) 医学教育の性格上、厳格な進級判定・卒業判定は必要不可欠であり、留年者・中途退学者は一定数発生する。低学力者への面談や個別プログラムの実施等の学修支援体制を今後も継続し、善処する。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバスにおいて授業科目ごとに授業の方法、内容及び年間の授業計画を具体的に記載している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 教育課程、成績評価、進級資格、卒業要件は、兵庫医科大学学則及び教務に関する規程に記載している。各科目の具体的な成績評価方法は、シラバスの授業計画に記載しており、科目責任者はシラバスに基づき学生の学修成果を評価し、単位を付与している。また、卒業の認定は、教授会において、学位授与方針に加えて兵庫医科学則に規定する「所定の課程を修了し卒業試験に合格した者」であるかを確認したうえで、卒業判定を行い、最終的に学長が決定している				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
医学部	医学科	268 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法： https://www.hyo-med.ac.jp/library/faculty/curriculum/03.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.hyo-med.ac.jp/guide/access/campus_map.html
https://www.hyo-med.ac.jp/education_and_research_building.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
医学部	医学科	2,200,000 円	2,000,000 円	4,300,000 円	実験実習費：1,000,000 円 施設設備費：1,300,000 円 教育充実費：2,000,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

「兵庫医科大学学生支援方針」に基づき、医学教育センターが中心となって、教務委員会、学生部委員会、学年担任、アドバイザー教員、ピアサポーターなどが協働し、学生の教育進捗や状況に応じた学修支援を行っている。

医学教育センターの専任教員は、低学年の臨床実習をはじめ、各学年の科目で科目責任者となっており、学生の成績を直接把握している。修学上の問題を抱える学生には、センター教員が随時個別に面談を行い、相談を幅広く受付けている。8 月と 12 月には GPA を用いて成績不良者のリストアップを行い、センター教員が個別面談と学修上の指導を行っている。留年した学生に対しては、留年決定後希望者に対して、次年度の授業が始まるまでに面談を行い、必要に応じて保護者を交えて、精神面や生活面も含めた相談に応じている。医学教育センターによる学生指導状況は、個人情報に配慮した上で定期的に教務委員会へ報告される。

第 1～4 学年次に学年担任教員を配置し、修学および学生生活に関する指導・助言を行っている。各学年担任は学生部委員会と連携し、定期的に行われる出席状況調査の結果を基にして、欠席の多い学生に対して面談を行い、学修上の問題を抱える学生の早期発見に努めている。また、問題を抱える学生に対しては、医学教育センター、学生相談室と連携することに対応している。

第 1 学年次にはよりきめ細やかな支援を行うため、学生 6～7 人ごとにアドバイザー教員 1 名を配置し、入学からの 1 年間、定期的な懇談会・個人面談を通して交流を深め、学修だけでなく学生生活全般への指導・助言を行っている。必要な場合には、医学教育センター、学生相談室、学生保健室を紹介している。アドバイザー教員による懇談会や個人面談の記録は、年度の終わりに学務部教学課へ提出し、必要に応じて進級後の生活、学修指導に用いている。

成績に悩む低学年（第 1～2 学年次生）の学生支援を目的に、ピアサポート制度を設け、公募により選出した上級生（第 2～5 学年次）がピアサポーターとなり、個別に学修支援や相談に応じている。サポーターの学生の中から学年別に代表を選出し、代表を中心とした自主的な運営を目指し、医学教育センター教員との連携のもと、適宜サポート内容を考え実践している。

各科目の担当教員は、シラバスにオフィスアワーを明示して、学生個々の学修上の質問への対応を行っている。

また、学校保健安全法施行規則に定める学校において予防すべき感染症による出席停止や自然災害等による通学不可、妊娠・出産など特別な事情により授業を欠席する学生に対しては、講義録画・配信や実習については追実習（補習）を認めるなど、学生個々の事情に応じた支援策を講じている。

b.進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

本学では、教育プログラムの中で様々なキャリアガイダンスを行っており、第1学年次では、入学直後の4月上旬に「自分史年表」を作成し、医師としての将来像を考える機会を設けている。また、「医学部へようこそ」では、本学の様々な分野の教員や本学同窓会「緑樹会」会長が、自身の体験を交えた講義を行い、医師としてのキャリアガイダンスやプランニングについて触れている。第4学年次「医療入門」では、キャリアガイダンスの時間を設け、マッチングや専門医制度について紹介するほか、拘置所や保健所の責任者を講師として招き、様々な角度から医師としての立場を知ることによって、各自が医師としてのキャリアガイダンスとプランニングを考えることができるよう計画している。また、特別講義として、『男女共同参画講義』を取り入れ、特に女性医師へのキャリア支援を周知している。

研究医コースの学生は、配属研究室の教員がマンツーマンでメンターとなり、研究指導だけではなく、学修の悩み、進路相談などにも対応している。また、医学教育センターや学生研究支援グループの教員が学生サポートを行っている。

兵庫県推薦入学学生に対しては、年に1回、兵庫県養成医師との交流会が開催されている。兵庫県養成医師制度の実態を知り、先輩の体験談、学生時代に身につけるべき知識・技術など具体的な情報を収集し、自らのキャリアガイダンス、プランニングを考える機会となっている。

地域枠推薦入学生に対しては、各学年で「地域医療特別演習」が必須科目となっており、夏季休暇期間を利用し、地域医療の現場での見学、体験を通じてキャリアガイダンスを行っている。

また、医学教育センター教員の個別面談等で学修上のカウンセリングを行う際は、学年を問わず、自らの医師としてのキャリアプランニングを意識させ、考えさせるよう適切に指導・助言を行っている。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

保健管理センターに学生相談室、学生保健室を設置し、学生の心身の健康増進を図っている。

学生相談室に専門の相談員を配置し、週3日または4日間午前10時～午後6時まで、学生からの相談を受け付けている。学生相談室の利用にあたっては、直接相談室へ行くことに加え、電話、テレビ電話、メールでの相談対応も可能であり、学生の利用のしやすさに配慮している。相談室で受けた面談の統計は毎月学生部委員会へ報告される。また、リーフレット「なごみ通信」を季刊し、学生・保護者へ配付、ホームページにも掲載している。学生相談員は、「学校法人兵庫医科大学ハラスメント防止等に関する規程」に則り、ハラスメント相談員を委嘱されており、ハラスメントに関する学生相談にも対応している。

学生保健室には専任の保健師を配置し、学生の健康維持のための定期健康診断や日常的な健康管理を行っている。毎年健康調査票を全学生に配付・回収し、アレルギー情報や大学での生活上で配慮が必要な情報を確認している。新入生には、心電図を含む心臓検診を実施している。また、感染性疾患防止対策として、入学直後に麻疹、風疹、水痘、ムンプス抗体価検査とワクチン接種、臨床実習前にはB型肝炎抗体価検査とワクチン接種、結核対策としてのクオンティフェロン検査を行っており、これらは大学が費用を全額負担している。さらに、インフルエンザワクチン接種（学生負担）も毎年実施している。学生ハンドブックには、針刺しなどの事故、インフルエンザやノロウイルスへの感染症などが発生した際の対応を掲載し、学生に周知している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.hyo-med.ac.jp/research_facilities.html
<https://gyoseki.hyo-med.ac.jp/hcmhp/KgApp>